

**商学部における特色ある学部教育の補助**  
**「学部授業への授業特別協力者(ゲストスピーカー)依頼」報告書**

テーマ	半導体の開発・生産・流通の現状		
科目名	流通論		
担当教員	久保知一		
実施日	2025年6月12日(木)	時限	三 時限目 実施教室
			オンライン 教室

**実施趣旨（目的）**

流通論では、製造業者が生産した完成品を最終ユーザーまで届ける流通チャネルのありかたについて様々なトピックスを講義している。昨今、半導体不足が社会問題となり、自動車や家電製品の品不足や価格高騰、さらには生成AIの発展によって生成AIに必須の半導体をほぼ独占的に供給するエヌビディアが一人勝ちするなど、半導体産業は学生の間でも関心が高い産業となっている。しかし、講義担当者は半導体産業についての知見を持っておらず、東芝の半導体ビジネスに長く関わってこられた安田先生に、学部生向けにわかりやすく半導体のバリューチェーン（開発・生産・流通）について講義していただく。講義担当者と安田先生は研究仲間でもあり、本講義で紹介している取引費用経済学の知見を用いて半導体産業のケース分析も行っていただくことになっており、理論と実践の架橋としてこの上ない機会であると考えている。

**実施結果**

安田洋史先生をゲスト講師として招聘し、「半導体産業のバリューチェーンと企業競争力の構築」をテーマとした講義を実施した。講義では、半導体の基礎的な仕組みから、世界市場の成長、日本企業の競争力低下の要因、さらには取引コスト理論を用いたバリューチェーン変化の分析まで、実務経験を踏まえて体系的に解説いただいた。特に、TSMCやNVIDIAなど海外企業の台頭、日本企業の強みである半導体材料・製造装置分野の重要性、経済安全保障との関係について具体例を交えて説明がなされ、学生の理解を深めた。受講生にとって、流通・マーケティング論で学ぶ企業間関係や産業構造の理論が、現実の先端産業でどのように展開されているかを学ぶ貴重な機会となり、産業競争力をバリューチェーン全体の視点から捉える重要性を理解する教育効果が得られた。